

伊地知則彦 いぢちのりひこ 宗教家。大正二年二月二十五日鹿兒島縣薩摩郡永野村生れ、昭和二十一年十月十八日歿（一九四一四七）。號涌山。縣立大口中學校を経て大阪外國語學校蒙古語部入學。軍隊生活一年のち渡滿。王爺廟の蒙古人小學校の教鞭を執り、その體驗録『蒙古の子供達』（康徳七年十一月二十日新京・月刊滿洲社）を出版、全滿に放送せられるなど反響を呼んだ。また石原莞爾を知り、その民族協和論に共鳴。兼て神道、佛教、キリスト教諸教を研究して白蓮信奉に到達。終戦後長春にわたり、道場を開くと、病を獲て歸國、小倉國立病院で歿す。他の『佛語實不虛』（昭和十四年刊）、『東亞の日本人』（昭和十七年刊）と著はす。遺稿を含む『涌山先生の憶ひ出』（昭和二十四年十月十八日鹿兒島・有馬光豊刊）、入江辰雄著『石原莞爾と伊地知則彦』（昭和五十七年九月十一日武田平村研究所、暁書房発売）がある。

